

「押忍！」

子どもたちの声が体育館に響き、構えがぴたっとそろいました。それだけで、一人ひとりが満たされたような、全員がまとまったような、そんな表情を見せていました。しかし、一人の男子児童がぼそっとつぶやきました。「蹴ったり突いたりって暴力じゃないの？ どうしてこんなことするの？」空手を経験したことのない子どもたちは、最初は同じような思いをもっていただと思います。篠田先生は、はじめに、武道の心得を伝えてくださいました。「がまんと弱者を思う心」「強さを勇気に変える」「勇気は正義のため」…。そしてご自身の失敗談や失敗への不安もあわせて話してくださいました。子どもたちは、その真っ直ぐな言葉と人柄を感じ取り、ずっと話に入っていました。終始、体を動かし、大きな声でかけ声やあいさつをしながら、あっという間の一時間半でした。体験を終えた子どもたちは、すっきりと納得した表情をしていました。あの男子児童も、「空手って、一つ一つにちゃんと意味があるんだね」と友達と話していました。今回、東京2020のオリパラ教育の一環として、篠田先生をお招きしましたが、人として大切なことは何かということ、90分で説いていただけたと感じました。東京都が目標とする「2020大会をきっかけに、未来へつなげる次世代の教育」として大変有意義なご講義をいただきました。ありがとうございました。

2018年3月5日

板橋区立板橋第一小学校  
オリンピック・パラリンピック教育担当

三品 香里